

[議題 3]

内郷地区の観光資源の活用と整備について

[質問の具体的内容]

相模湖町地域の魅力は、山や湖、川などの豊かな自然やそこに住む人々の前向きな生き方であると思っている。森があり、湖がある、空気のうまい相模湖町へ旧市内や他市からも多くの人に来ていただきたい。

相模湖町は昔から観光地として力を入れてきたが、特に最近、中高年のハイカーが多くなり、東海自然歩道などを手軽なコースとして利用する人が増えている。

石老山を中心としたハイキングコースは、相模原市観光マップに4時間、約15キロのお手軽なコースとして紹介されている。この4時間のハイキングコースには、トイレが3箇所ある。まずバス停から20分付近の場所にあり、次にバス停から35分くらいの顕鏡寺にあり、最後に山頂に上って下ってきて相模湖ピクニックランドそばのバス停まで20～30分付近の場所にある。このトイレの1つを早急に改修していただきたい。

バス停から一番近いところにあるトイレだが、数年前から老朽化が進み、扉は閉まらない、水は出ない、壁は落ちそうで、使えたり使えなかったりする状況である。地元でこうしたトイレがあるのはまずいので、数年前から市の担当課といろいろ協議し、担当課でも熱心に様々な対策を考えていただいたが、現在は使用できるような状態ではない。地元としては、多くのお客さんに来ていただき、来てよかったと思ってほしい。

相模湖町地域には市が管理しているトイレが10箇所くらいあるが、顕鏡寺のトイレや相模湖公園のトイレはきれいである。こうしたトイレもあれば、年月が経過したために入るのが嫌だと思える場所もある。この際、総点検を行い、老朽化の進んでいるトイレに対して手を打っていただきたい。

石老山の山頂にトイレを新設したらどうかとの声も出ている。4時間のコースで、顕鏡寺のトイレを使ってから次のトイレまで3時間くらいかかるため、女性は大変である。山頂にトイレがあれば理想的であるが、誰が維持管理するかが大きな問題になる。新設については、ただつくればよいというものではなく、地元等とよく協議を行い、実際どうあるべきかを考え、非常にきれいで快適なものにしなければいけないので、相談をしたい。

観光を産業とする場合、トイレの問題は避けて通れない問題だと思う。すべてを行政にお願いするだけで済むのかどうか、地元で考えていることもあるので、どうしたらよいか、地域と行政が互いに知恵を絞って問題に取り組む必要がある。

相模原市は人と自然が共生し、活力あるまちを目指しているが、相模湖町はその言葉のとおり場所だと思うので、そのよさをもっと多くの方に共有していただきたい。せっかく相模湖町地域へ来ていただくのだから、トイレはきちんとしておくことが必要だと思う。

まず、相模湖病院前のトイレを改修していただきたい。また、他の相模湖町地域にあるトイレを点検していただきたい。さらに、トイレの増設や登山道については、地元や行政がどう進めていったらよいのか相談したい。

内郷地区は、地元を愛する方が地元の売り出しに取り組んでいる地域なので、このことも勘案してよろしくお願ひしたい。

[回答]

- ・ 市域全体に様々な観光資源があり、そういった資源を活用して新たな観光交流を創出するため、

本年3月に新相模原市観光振興計画を策定した。

- ・ その中で「地域の魅力を生かした観光基盤づくり」との施策があり、その中に観光客の立場に立った「トイレなどのサービス施設の基盤整備」を位置づけている。
- ・ 相模湖病院前のトイレについては、現地を確認したが、老朽化が進んでおり、早急に整備を検討しなければいけないと思っている。
- ・ トイレの設置場所についても、4時間の観光ルートの中で20分、35分付近にトイレがあり、次のトイレまで3時間くらいかかるので、はたして適切な場所に設置されているか、疑問がある。
- ・ このため、地元の皆さまや観光協会の皆さま等と協議し、皆さまに喜んでいただけるようなトイレの設置を検討していかなければいけない。
- ・ 観光のまち相模湖町へ一度だけではなく、何回も来ていただくためにも維持管理等を行う必要があるため、現地をよく調査し、そのことも協議していきたい。
- ・ 石老山ハイキングコースは東海自然歩道の位置づけとなっている。
- ・ 案内板も設置しているが、ハイカーから案内板が乏しいとのご意見もいただいている。
- ・ 登山道についても、整備をしなければならないところもあると思われる。
- ・ 地元の皆さまや関係者、観光協会の皆さま等とよく協議し、必要であれば神奈川県にも伝え、整備について取り組んでまいりたいと考えている。
- ・ 内郷地区には地域の皆さまに育まれた多くの観光資源がある。
- ・ カタクリの郷等の観光資源の活用については、町内の他の観光資源を組み合わせることによって、さらなる効果が期待できると思っている。
- ・ 相模湖観光協会や地域の関係者の皆さまと地域の活性化のためにどうしたらよいのか協議し、取り組んでまいりたいと考えている。
(相模湖経済環境課、観光振興課)

[議題3に対する質問等]

<質問等>

- ・ 全体の観光基盤の整備の中で考える必要があるとの話であったが、寸沢嵐遺跡、北条軍と武田軍の戦いの後始末をしたという首洗池や首塚、石老山入口付近にある、鎌倉までの道標など、そういうものもすべて頭の中に入れてほしい。
- ・ また、道路が整備されていても、他所から来て、ごみだらけだったり、やぶだらけだったりする山だと楽しめないもので、そのことも配慮していただきたい。

<回答>

- ・ 貴重な観光資源があるので、そういうものを有効活用しながら、ぜひ観光のまち相模湖町をPRできるように取り組んでまいりたい。
- ・ ごみ関係については喫緊の課題である。
- ・ 人目につかない場所で、ごみの不法投棄が常習的に行われているエリアもある。
- ・ 合併後、市では、昼夜間を問わず、精力的に不法投棄防止のパトロールを実施しており、また、不法投棄が多発しているところへは監視カメラも設置している。
- ・ さらに、今年度新たな事業として、不法投棄防止対策のパートナーシップ事業を実施し、不法投棄の防止活動にご協力していただける団体を募り、増原自治会に応募いただいている。
- ・ 行政と地域の団体とがよく連携を図り、地域ぐるみで活動していきたい。
- ・ 今後も不法投棄防止対策を図ってまいりたいと考えているので、よろしく願いたい。